

カラー後すすぎ pH 検証報告書

～ アルカリカラー後の毛束を、水道水と salomb 水ですすぎ比べた自社検証結果 ～

表 題	salomb 導入によるアルカリカラー後のすすぎと pH についての検証試験
試験目的	アルカリカラー剤を塗布した毛束を、水道水または salomb 水ですすぎ、毛髪に残るアルカリ性（pH）を比較する。
試験実施	株式会社 salomb 自社検証
検証日	2026 年 10 月 9 日
報告日	2026 年 10 月 9 日

1. 試験目的

ヘアカラーで一般的に用いられるアルカリカラー剤は、施術後の毛髪をアルカリ性に傾ける。ウルトラファインバブル（UFB）を含む水（salomb 機器で生成。以下「salomb 水」）によるすすぎが、カラー後の毛髪に残るアルカリ性にどのような違いをもたらすかを、水道水との比較により検証することを目的とした。

2. 試験方法

【使用材料・機器】

項 目	内 容
試験水①（対照群）	一般水道水
試験水②（試験群）	salomb 水（salomb 機器で生成した UFB を含む水）
被験体	人毛の毛束 9 本（同一の人毛マネキンから、同じ太さ・長さで採取）
カラー剤	市販のアルカリカラー剤（ミルボン「エノグ」、全毛束で同一品・同一調合）
抽出用の水	精製水（KYK 高純度精製水）
pH 測定器	デジタル pH 測定器（FieldNew）。測定前に pH 標準液（4.01／6.86／9.18）で校正
室温	24℃（測定時の液温 23.8～24.8℃）

【毛束の区分】

区分	毛束	処理
カラー前（基準）	A1・A2・A3	カラー剤を使用せず、そのまま精製水に浸す
水道水ですすぎ	P1・P2・P3	カラー剤を 20 分置いた後、水道水で 30 秒すすぐ
salomb 水ですすぎ	P4・P5・P6	カラー剤を 20 分置いた後、salomb 水で 30 秒すすぐ

【測定手順】

手 順	内 容
① カラー	P1～P6 にカラー剤を同じ量塗布し、20 分置く
② すすぎ	P1～P3 は水道水、P4～P6 は salomb 水で、それぞれ 30 秒すすぐ
③ 浸す	A1～A3 およびすすぎ後の P1～P6 を、それぞれ精製水を入れた容器に 15 分浸す
④ 測定	毛束を浸した精製水の pH を、校正済みの pH 測定器で測定する

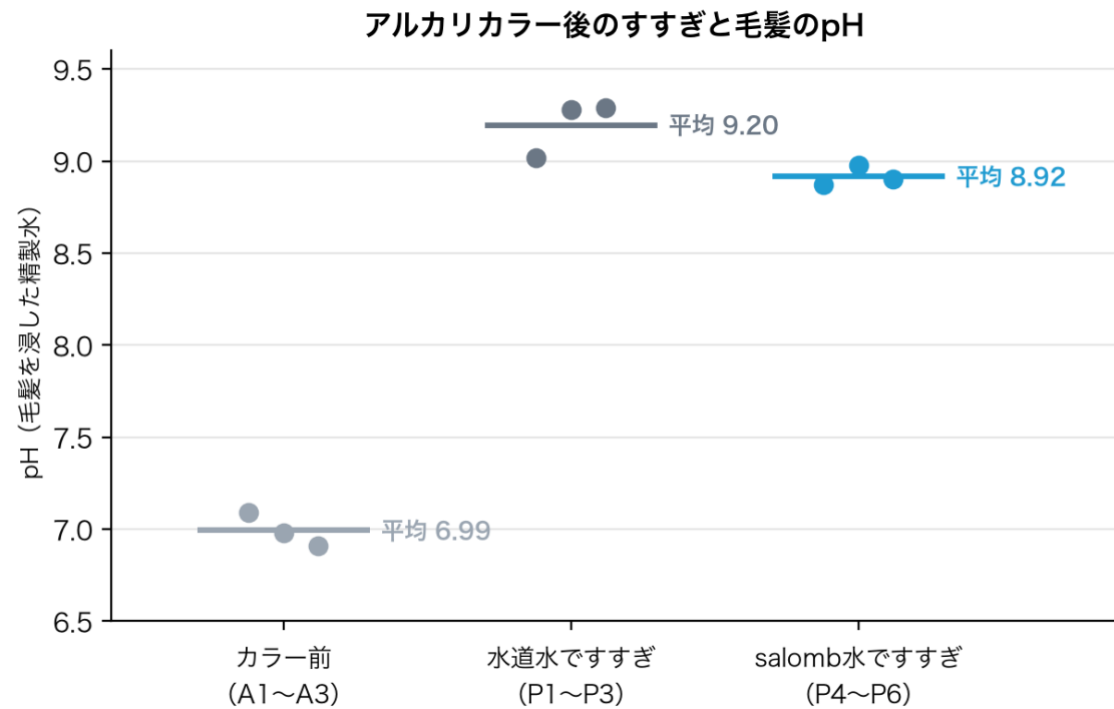
※ 毛髪に残ったアルカリ成分が精製水に溶け出すため、浸した精製水の pH を測ることで、毛髪に残るアルカリ性の程度を比較できる。

※ すすぎに用いた水以外は、カラー剤・放置時間・すすぎ時間・浸す時間・測定機器を同一とした。

3. 試験結果

【pH の測定値】

区分	1 本目	2 本目	3 本目	平均	カラー前との差
カラー前 (A1～A3)	7.09	6.98	6.91	6.99	—
水道水ですすぎ (P1～P3)	9.02	9.28	9.29	9.20	+ 2.20
salomb 水ですすぎ (P4～P6)	8.87	8.98	8.90	8.92	+ 1.92



【測定時の様子】

		
P1 水道水すすぎ (9.02)	P2 水道水すすぎ (9.28)	P3 水道水すすぎ (9.29)
		
P4 salomb 水すすぎ (8.87)	P5 salomb 水すすぎ (8.98)	P6 salomb 水すすぎ (8.90)

4. 試験結果と考察

カラー前の毛束（A1～A3）の平均 pH は 6.99 であった。アルカリカラー剤を塗布した後、水道水ですすいだ毛束（P1～P3）の平均 pH は 9.20、salomb 水ですすいだ毛束（P4～P6）の平均 pH は 8.92 であり、salomb 水ですすいだ毛束の方が、カラー前の pH に近い値となった。salomb 水ですすいだ 3 本はいずれも、水道水ですすいだ 3 本より低い値であった。

pH は対数で表される値であるため、平均の差 0.28 は、アルカリの強さ（水酸化物イオン濃度）に換算すると、salomb 水ですすいだ毛束では水道水の約 2 分の 1 に相当する。

※ 本結果は人毛の毛束を用いた各 3 本の自社検証によるものであり、実際の頭髮・カラー剤の種類・すすぎ時間等の条件によって結果は変わる。30 秒のすすぎ後は、いずれの毛束もカラー前（pH 約 7）よりアルカリ性の状態であった。すすぎに用いた水そのものの pH は測定していない。

■ 結 論

アルカリカラー後の毛束を同一条件ですすぎ比べた自社検証において、salomb 水ですすいだ毛束は、水道水ですすいだ毛束と比べて、毛髪に残るアルカリ性がやわらぎ、カラー前の pH に近い値となることが確認された。

以上